

## 自民党政治を大もとから変える日本共産党の躍進を

### 「全国宣伝行動スタート週間」東海ブロックでも

自民党総裁選を巡る異常な過熱報道のなか、日本共産党は2日から「全国宣伝行動スタート週間」(～8日)を開始、東海ブロックの愛知、岐阜、静岡、三重の各県でも行動に取り組んでいます。すやま初美衆院東海比例候補らは5日、名古屋市中区でランチタイム宣伝。夕方には、もとむら伸子衆院議員(比例候補)も参加して名古屋駅前では若者宣伝に取り組み、青年と対話しました。

(須山候補のフェイスブックから) 「アメリカとの関係が支配的なのはわかる。どうやって解消しますか? 戦争になりませんか? 資本主義を否定的に感じる部分も、肯定的に感じる部分もあって、複雑です。など、たくさんのお問い合わせをもらい、一緒に考え合う時間はとても有意義でした。今は人生の目標があってダブルワークをしているけれど、確かに自由な時間がたくさんあれば、ボランティア活動してみたい。みんなに余裕があれば政治や社会のことにもっと関心もてるかも。」

そんな感想も話してくれました。たくさんのお話を通じて、新たな仲間も。ところで、最近「赤旗電子版を



静岡市では鈴木せつ子衆院静岡1区候補らが宣伝



田村智子 委員長  
9月8日(日) 17:00～  
名古屋駅(名古屋駅桜通り口)  
自民党政治をチェンジ!  
希望を語る街頭演説会



本社前道路で対応する中電社員(右手前)

### 浜岡原発は廃炉に

原発なくすあいちの会 中部電力へ申し入れ もとむら、すやま氏同行

原発なくすあいちの会は4日、浜岡原発の廃炉を求める要請を中部電力本社に行いました。

もとむら伸子衆院議員、すやま初美党副委員長(ともに比例東海ブロック予定候補)が同行しました。要請は1月の能登半島地震、8月の「南海トラフ地震臨時情報」の発表を踏まえ、原発の危険性が明らかになったとして、あらためて浜岡原発の廃炉を求める内容です。

もとむら氏は、東日本大震災での福島第一原発事故から13年たっても福島県で東京23区の半分の面積が帰還困難区域になっている。電力業界の「安全神話」が悲惨な事態を招いたとして、無責任な主張はやめ、浜岡原発を廃炉にすべきだと迫りました。

### 米不足、緊急に対応を 党愛知県議団が東海農政局へ申し入れ

もとむら、すやま氏同行

日本共産党愛知県議団のしもおく奈歩議員は4日、東海農政局に、「米不足への緊急対応を求める」申し入れを行いました(下写真)。もとむら伸子衆院議員、すやま初美比例候補も同行しました。

しもおく氏は「日常生活に困っている。『お弁当を作れない、めん類で我慢している』など声がある。主食である米不足という事態。安定供給を国の責任で」と求めました。



東海ブロックいっせいで宣伝は 9月17日(火)です